愛の園後援会だより
編集発行
愛の園後援会
和歌山県西牟婁郡上富田町生馬316-56
TEL 0739-47-1234 〒649-2103
振替　00920-2-4155

『入居者の方々の昔と今』

2ユニット　結城俊子さん

主人を戦争で亡くした為、私が二人の子育てをしながら定年まで働きました。

主人のことを思い出して辛いと感じたこともあり、えらい時代でした。今の平和な時代を当たり前だと思わず、過去の大変な時代があって今があることを知ってほしいと思います。

気持ちはあっても高齢なので何かやりますとは言えませんが、タオルや洗濯物をたたむお手伝いはしています。皆さん良くしてくれますし、同じユニットに幼なじみの人もいるので心強いです。これからも宜しくお願いします。

9ユニット　部谷のふ子さん

私は大阪の生野区、住吉区に住んでいましたが、戦争で富里に避難してきました。

それでも飛行機が飛んできて防空壕へ隠れる生活が続き、家でゆっくりできることはありませんでした。焼夷弾がとても怖かったことを覚えています。

罪のない人達が死んでいきます。若い人達には「戦争は絶対にしてはいけない」と言いたいです。

今はきちんと身の回りのお世話をして下さるし、ここでおらしてもらえてありがたいです。毎日、本を読んだりしてゆっくりと過ごしています。

今後は毛糸で編み物もして楽しみたいと思っています。宜しくお願いします。

11ユニット　田上リツさん

昔は主人と食堂を営んでいました。お客さんは主に高校生で、部活動を終えてから食べに来てくれる生徒さんも多く、ほとんど休みなく働いていました。

たくさんの量をおいしそうに食べているのを見ながら、色々な話をして楽しかったことを覚えています。

今はタオルたたみを手伝ったりはしますが、ゆっくりと気楽に過ごしています。

職員の皆さんは良い人ばかりです。要望は一切ございません。

これからも宜しくお願いします。

▲秋の遠足
イースターエッグ作り▲

ユニット紹介

『新しい発見』

3ユニットリーダー　田上美穂

暦の上では立秋を迎えましたが、まだまだ猛暑の日が続きそうな季節ではございます。

3ユニットでは余暇を楽しんで頂けるよう入居者様の要望でもある、リビングでの「DVDでのライブビューイング」を開催しています。

入居者様に事前に好きなアーティストを伺い、日曜日の午後や夕食後など不定期ではございますが、「氷川きよし」「都はるみ」あるときは「懐かしの歌謡曲集」など、今は亡き「美空ひばり」「三波春夫」などなど、ライブ会場さながらの雰囲気づくりを行い、職員も一緒に同じ空間を楽しんでいます。

好きなことや、楽しまれているときの入居者様の一人ひとりの表情や言葉などからは、日常生活では見られない、感じることが出来ない新しい発見などもあり、職員が元気をもらうこともたくさんあります。

3ユニットスタッフはこの四月より三十代～四十代とさらにエネルギー溢れるユニットになり、入居者様への挨拶や接遇などは徹底し、日常生活の見守りやサービスをする際に大切なのは「気付き」だと考えています。

入居者様の些細な変化や顔色を見逃さないように、スタッフ一同日々のケアにも「丁寧に」を心がけています。

3ユニット

『祖母からの贈り物』

後援会役員　谷中順次郎

私は今年七十歳になりました。

先日、子供達、孫達が古希の祝いをしてくれました。

孫達のお陰で、賑やかな楽しい時間を過ごしました。私はこの幼い孫達に祖母からの言葉を伝えたいと思っております。

私が物心つく頃に、祖母は私の手をひいて繰り返し言い聞かせてくれた言葉があります。

「笑う顔には福がくる」という言葉です。祖母が言うには「人に会ったら自分から先に挨拶をするんや。その時に〝にこっ〟と笑顔で挨拶するんや。そしたらされた方は気持ちがいいし自分も気持ち良くなれるんや。」この言葉を何度聞かされたことでしょう。聞くたび毎に「又同じ事を言っている」と聞いていましたが、いつしか身についてその様に心掛けている自分に気付きました。この事が、私の人生の中でどれだけプラスになったか知れません。

私も祖母の歳になりました。今、改めて祖母からの贈り物をかみしめております。日々の生活に関心、感動、感謝と共に笑いを生活の中に上手に取り入れて微笑むことで心を楽しく元気に歩んで行きたいと思います。

愛の園後援会役員になって七年になりますが、訪問させて頂くたびに明るく清潔感あふれる施設と職員の方々の笑顔の挨拶に接し、いつもすがすがしい気持ちにさせて頂いております。

『私と愛の園』

下鮎川　庄下義三

私は若い頃、下鮎川地区の青年代表として副会長をしていました。そんな縁で町内の葬儀担当の人が突然体調を崩した時、大勢の人から「名前だけでいいから葬儀の責任者になって欲しい」と頼まれ、私なりに色々とお世話をさせてもらっていました。

実は妻は斎場に勤めることに猛反対していましたが、多くの人の頼みもあり、家族と何度も話し合い、理解して貰った上で斎場に勤めることにしました。そこで当時の「愛の園」の濱野園長と親しくなり、私が小学校、中学校のPTA役員などをしていたご縁で何度も町民向けの講演会をして貰いました。

その時に「私も歳を取ったら愛の園でお世話になりたい」と私が言うと、濱野さんは「私はあなたより何歳も年上だから後の人に申し送っておきますよ」とおっしゃった事を今でも覚えています。

現在八十三歳になった私は、足腰を悪くして愛の園のデイサービスでお世話になっています。愛の園に来た日は、必ず濱野さんの写真に向かって心から「お世話になっています、ありがとうございました」と大きな声で挨拶をさせてもらっています。

聖福寺・関守研悟住職によるコンサート

岩田幼稚園より「収穫感謝の日」の訪問

『皆で協力して』

ショートステイ利用者ご家族　堤　喜美子

主人は定年退職してから近くの畑を借りて家庭菜園をしていました。近いし、運動にもなると喜んでいましたが耳の聞こえが悪くなり、人中に出て行く事も少なくなり認知症が進んできました。

認定も要介護度3になり、食事の介助や下の世話、時々車いすから立ち上がって動き出すので一日中、目が離せなくなり、昨年十一月より愛の園ショートステイで二泊三日で月二回お世話になって居り、やっと休む時間が取れたと喜んで居ります。

家では息子家族と同居しており、孫達や兄弟達も手伝ってくれて回っています。これからも段々と手が掛かる事が多くなり、又、自分も体力的に弱って行くので皆様のご協力をお願い致します。

スタッフの方々も皆さん笑顔で接して頂き大変安心致しております。

『互いに楽しく』

ショートステイ利用者ご家族　上森　充

八十五歳になる母は、龍神で一人暮らしをしていました。五年前に体調を崩して田辺市内の私の家で生活するようになり、心疾患と診断されて以降、何度も病院のお世話になり、腸の手術、脳梗塞、骨折などの治療で入院しました。

一週間の内、愛の園でのショートステイと家での生活が始まり、本人は「龍神に帰ってみたい」「温泉に行きたい」などと言いますが体力的にも余裕が無い状態になっていますので、出来る範囲で生活に変化が感じられるように車いすで近所の散歩をしたり花を見たりしています。

介護に時間がかかり、仕事をしている為に余裕の無い状態ですが、母の希望も聞きながら互いに楽しく過ごして行けるように工夫して行きたいと思っています。

節分の日　豆まき

『多職種協働』

看護主任　仁木和子

看護師の業務は療養上のお世話と診療の補助であり、療養上のお世話とは、患者である入居者のお世話、病状観察、指導と労り。診療の補助とは、病状の報告、診療の介助、診療指示に基づく業務、救急処置をいいます。

愛の園には、九十名の入居者と現在十名のショートステイご利用者が居られます。入居者一人ひとり、複数の疾患を持っておられるので、日常の変化や観察が日々の生活を送る上で大切だと思っています。体調を崩すと二次的障害を引き起こしやすく、合併症によって基礎疾患が増悪し、健康回復は悪循環をたどってしまいます。又、日常生活機能の低下を発生させてしまうため、常に予防的な対応が重要になります。その為、いつも近くで接している介護職、ケアマネジャー等からの情報、多職種協働による専門連携が重要です。

毎日をその人らしく過ごしてもらい、愛の園で生活出来て良かったと思ってもらえるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

生馬小学校よりお花の苗

会員状況

地区	2016年度会員数
田辺市	165
上富田町	164
白浜町	24
県内他市町村	20
県外	44
合計	417

会員納入状況

地区	2015年度納入人数	2016年度納入人数	前年比
田辺市	64	63	－1
上富田町	78	71	－7
白浜町	8	7	－1
県内他市町村	5	7	＋2
県外	26	23	－3
合計	181	171	－10

※昨年、10年以上会費納入の無い会員の方のデータを削除させていただきました。

2016年度愛の園後援会　会計報告

愛の園後援会　貸借対照表　(2017/3/31)

借方 科目	借方 金額	貸方 科目	貸方 金額
現金	0	前期繰越金	3,141,436
郵便振替貯金	0	当期剰余金	▲722,827
普通預金	2,418,609		
当期欠損金	0		
計	2,418,609	計	2,418,609

愛の園後援会　収支計算書　(2016/4/1 - 2017/3/31)

借方 科目	借方 金額	貸方 科目	貸方 金額
前期より繰越	3,141,436	後援費	1,385,210
会費	766,000	印刷費	65,880
雑収入	43	通信費	22,346
(収入小計)	766,043	払込手数料	15,002
		雑費	432
		(支出小計)	1,488,870
		次年度へ繰越	2,418,609
計	3,907,479	計	3,907,479

H28年9月　後援会より車両贈呈

役員

会長　上羽　寛
副会長　玉置　貴彦
会計監査　中井美智子　笠松　孝司
幹事
田辺市　谷中順次郎
上富田町　平岩チホコ　寺前　裕章　松井　孝恵
事務局　堀　美都子

編集後記

残暑が続いておりますが、皆様にはお元気でお過ごしの事とお慶び申し上げます。

さて、昨年度の後援会事業はショートステイの送迎や通院に便利な助手席乗降シート付きの「ダイハツムーブ」を九月の「一日我が家」で贈呈することが出来ました。同面の写真と共にお知らせ致します。

今年度の事業は、入居者の方が体を動かしたりレクリエーションをしたり、介護予防に取り組めるという優れもののカラオケがあるという事で、デモ機をお借りした所、皆さん大変楽しそうに利用して下さったので、九月の「一日我が家」でそのカラオケを贈呈する予定です。私の個人的な胸の内ですが時間外の職員交流にも使えたら、尚、有意義なプレゼントとして園全体で喜んで頂けるのではないかと思っています。(笑)

現在会員を募集しています。会員の皆様からも会員入会のお願い並びに会費の納入をよろしくお願いいたします。

詳しくは、愛の園後援会事務局　堀までご連絡下さい。

愛の園後援会事務局
☎0739-47・1234